
文部科学省 説明資料
～コンテンツ人材育成・日本博～

クールジャパン戦略会議
令和8年3月19日

コンテンツ人材育成について

○我が国コンテンツは、世界中の人々を魅了し、世界市場の中でも高く評価されている、我が国の誇るべき財産。コンテンツ産業の海外売上は、2023年には約5.8兆円規模に達しており、政府はコンテンツ産業を基幹産業と位置付け、2033年に海外売上を20兆円とする目標を設定。

○目標達成に向け、①人材育成、創造活動・海外発信支援、クリエイターの権利保護/対価還元、③コンテンツ文化の保存・活用、④芸術教育・子供の文化体験の取組を推進。

人材育成、創造活動・海外発信支援

クリエイター支援基金による複数年度にわたる支援

- ・卓越した若手クリエイターの海外進出の支援【R5補正～】
- ・大学等における人材育成コース創設、リスキリング支援【R6補正～】
- ・マンガ海外配信の推進のためのコンソーシアム創出【R7補正～】
- ・制作・発信の現場を支える人材（中核的専門人材）の育成支援【R7補正～】
- ・国際芸術祭・見本市等における日本コンテンツ文化の発信【R7補正～】

日本映画の創造・振興

- ・若手映画作家・映画スタッフ育成
- ・日本映画製作支援（実写、アニメ）
- ・国際映画祭への出品・出展支援
- ・国際映画祭開催への支援 等

活字文化のグローバル展開

- ・グローバル展開のための協議会設置
- ・翻訳コンクール、翻訳等助成
- ・シンポジウム・セミナー開催
- ・ブックフェア出展

アニメーション人材育成調査研究事業

- ・制作会社と教育機関が協働する場の構築、求められるスキルの明確化等
- ・就業者の技術向上プログラム、アニメ業界志願者の基礎教育プログラムの実施

メディア芸術クリエイター育成支援事業

- ・次世代のメディア芸術を担う若手の創作・発表を支援

クリエイターの権利保護/対価還元

- ・海賊版対策（AIを活用した海賊版サイト等の侵害実態把握等）
- ・生成AI専門相談窓口
- ・適正な契約関係構築のための研修や法律相談窓口の設置
- ・対価還元に向けた著作物データの流通促進 等

コンテンツ文化の保存・活用

- ・マンガ、アニメ等アーカイブ機関のネットワーク化
- ・原画などの中間生成物の保存
- ・メディア芸術ナショナルセンター（仮称）の設置に向けた整備
- ・国立映画アーカイブにおける取組 等

芸術教育・子供の文化体験

- ・クリエイター等の学校派遣
- ・文化部活動改革
- ・全国高等学校総合文化祭
- ・学習指導要領の周知・改訂、教員研修

概要

日本博は、日本の文化芸術の魅力を世界に発信するとともに、地域の文化芸術振興を目的とした官民による大型プロジェクト。大阪・関西万博などと連携して、我が国の伝統芸能、舞台芸術、音楽、メディア芸術、アニメ・マンガ、障害者アート等の多様な文化に触れる機会を全国各地で提供。年間を通じてインバウンド需要に応えることにより、訪日機運の醸成と地方への誘客を図るもの。

これまでの取組例

1. 最高峰の文化の祭典

外国人のための能楽鑑賞教室 Discover NOH & KYOGEN

「外国人のための能楽鑑賞教室 Discover NOH & KYOGEN」を、バイリンガル狂言師による英語解説を交えながら、代表的な演目をコンパクトに上演。



2. 地域の魅力を総動員

三陸国際芸術祭

三陸各地で行われる芸能催事について、各地の文化観光資源と共に紹介するプロジェクト。モデルプラン等を日英2か国語で発信。



©三陸国際芸術祭

3. 最先端のバーチャル体験

興福寺×先端テック

VR（バーチャルリアルティ）映像による豊かなビジュアル表現を用いて興福寺の思想・再建の想いを体験できる「特別ガイドツアー」の実施。



4. 若い力で未来を拓く/多文化共生

ユニバーサルツーリズムプロジェクトの推進

大阪・関西万博を舞台に「障害者の文化国際フェスティバル」を実施し、万博会場と全国各地を結ぶ「文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト」を実施。



5. ソフトパワーで日本の心を発信

アニメ×まちづくり（日田市）

海外でも人気の高い「進撃の巨人」と日田市が作り上げた「進撃の日田フェスタ」を開催。周遊型謎解きやキャラクターとコラボした日田下駄づくりなど体験型イベントを数多く実施。

